

<BYOD 授業 音楽Ⅰ>

6月22日（水）1年生「音楽Ⅰ」のBYOD 活用授業の続きです。

『翼をください』が人々に愛され続けた理由を旋律や歌詞から感じ取り歌おう」というポップソングを題材にした単元3時間目となります。



（左）本日も音楽の授業の最初の挨拶は輪番生徒のピアノ演奏による、修礼から始まります。真剣味が溢れていいですね！入学式や卒業式、いざという時音楽選択者なら誰でも修礼を弾けます。

（右）まずは、前時学習を振り返ります。学習シート、振り返りシート、楽譜など前時取り組んだ資料を Classroom で確認します。

本時の目標が「色んな表現方法を考えてみよう！」と示されました。

学んだことから、どのように歌唱表現したいか、個人で考えたこと、グループシェアリングを通して気がついた事を確認します。



グループごとの考察は jamboard（ジャムボード）を使用。実は生徒はジャムボードを使うのは中学以来かと思いきや、前時にはじめて使った人が殆どだった模様。本日生涯2時間目の使用なのです。それでも生徒は慣れた手つきでサクサク入力し、スイスイ付箋を整理していきます。この辺の慣れの速さは現代っ子です。先生達より修得が早い。入力した付箋は jamboard 上のどこに出てくるか分からないので、この授業では班ごとに使う色を決めて、ランダムに出てくる付箋を班ごとに綺麗に並べて整理します。

歌唱表現に必要な発声方法や、言葉の発音、身体の使い方などを意識して、考えられ得る色んな表現方法を考え、書き込んでいきます。

答えがひとつではない課題への挑戦。これは芸術のみならず、キャリア活動、いや通常の教科科目の中でも、大切な挑戦なのかも知れません。生徒の皆さんはこれからも学校の全てのカリキュラムを、探究心を持って取り組んでいって欲しいです。



学習シートに全体発表で他グループの発表から新たに気がついたことや、納得したことを記入しました。

さらに、振り返りシートで授業前と授業後で自己の変容等を記入し、何がどう変わったか、今後どのようにしたいか具体的に示すことができるようにしました。



最後の方で三上先生が自分の体験談の話しをしてくれました。歌唱表現の面白さや楽しさが伝わってきました。